



市P連だより

第54号

令和5年3月発行

尾道市PTA連合会 (事務局) 〒722-0043 広島県尾道市東久保町20番14号 おのみち生涯学習センター内
TEL (0848)37-7353 FAX (0848)37-7354 E-mail jimukyoku@onomichi-pta.net



尾道市PTA連合会
第24代会長
吉浦史貴

卒業生の皆さんへ

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。小学校の6年間、中学校の3年間はどのような時間でしたか。コロナ禍の3年間、学校生活も大きく変わり「新しい生活様式」を取り入れざるを得ない日々でした。思い描いていた学校生活とは大きくかけ離れていたものかもしれません。人との関わりが制限される中で、人との関わりがどんなに大切かも知ることになりました。沢山の人々に支えられた社会である事も学びました。

『うしろを振り向き必要はない。あなたの前にはいくらでも道があるのだから』

中国の文学者、魯迅の言葉です。あなたはこの世界に自分の望むものを得るために生まれてきた特別な存在です。あなたの夢はどんなに大きいものでも良いのです。あなたがそこに辿り着くには、遠回りしないといけません。もしかしたら途中でつまづいてしまうかもしれません。ですがまた立ち上がって歩き出せば、その道のり全てがあなたの糧になります。頑張る価値のあるものです。あなたの唯一のライバルは自分自身の諦める気持ちです。よく学び、よく遊び、よく笑いながら、あなたに用意されたたくさんの道の前を見てゆつくり歩んで行って下さい。

さて、保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。親子が一緒に過ごせる時間は生涯を通してたったの9年間だそうです。またその時間は

小学校へ上がるまでに35%、小学校卒業までに55%、高校を卒業したら70%まで使ってしまうそうです。子育てに追われている間、この時間は永遠に続くような錯覚に囚われてしまいますが、我々親が自分の子どもに直接愛情を伝えられる時間は限られています。この数ヶ月、私も長女が大学受験を控え共に過ごせる時間のありがたさと寂しさを感じ、この先後悔することのないように、今この瞬間を大切にしたいと心から思いました。保護者の皆様におかれましても貴重なお子様との時間を大切に、しっかりと愛情を伝えてください。

尾道市PTA連合会は各校PTAと同様に、子ども達の健やかで健全な学校生活を応援することに加え、保護者と教職員、関係官庁との連携と交流を以て教育環境の向上を図ることを目的としております。この一年間、本来の目的に立ち返り、感染防止と並走させてどこまでできるのか、新たな形を模索してまいりました。その結果、年度前半では対面での会合や大会の中止を余儀なくされ意思疎通が不十分となり、皆様にご心配をお掛けしました事を詫言ひ申し上げます。

また本年度各校のPTA活動の再開のきっかけとなることを期待して開催しました星空映画祭では、活動趣旨をご理解いただき皆様にご協力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。最後にになりましたが、未来ある卒業生の皆さん、卒業式が終わり学舎を出れば新しいステージが始まります。よく遊び、よく学び、よく笑う、3つの言葉とともに道を歩み、自身の夢をつかみ取ってくださることを期待し、贈る言葉とさせていただきます。きつとうまくいきます。ご卒業おめでとうございます。



尾道市教育委員会
教育長
佐藤昌弘

卒業生へのメッセージ

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様、お子様のご卒業、本当におめでとうございませう。これまでの御苦労も大きな喜びに代わっていることと存じます。

また、今日まで卒業生を、熱心に指導してこられた先生方、学習支援や登下校の見守り等で、卒業生を支えてくださった地域の方々をはじめ、関係者の皆様にごの機会をお借りし、厚くお礼申し上げます。

卒業される皆さんには、今まで過ごしてきた月日が走馬灯のように思い出されるのではないかと思います。

新型コロナウイルス感染症が拡大して三年という月日が経ち、私たちの生活は大きく変化しました。学校でも、休校やオンライン授業、学校行事やクラブ活動の中止、縮小など、様々な制限を余儀なくされました。皆さんは思うような学校生活が送れず、悔しい思いをされたのではないかと思います。

こうした経験をした皆さんであるからこそ、人と人とのつながりを大切にしたいと思えます。人は一人では生きていけません。多くの人と関わり、多くの経験をする中で人は成長することが出来ます。一人では困難なことも、仲間がいれば乗り越えられることもたくさんあります。皆さんもこれまでを振り返った時、家族や先生方、友達、たくさんの地域の方々の支えがあったことに気づくのではないで

しようか。昨年、カタールでサッカーワールドカップが開催されました。日本代表チームが、スペインやドイツといった強豪を相手に勝利を収め、日本中に感動を与えました。中でも、三苫薫選手が必死にボールに食らいつき、田中碧選手のゴールをアシストした「三苫のミリ」は、最後まで諦めないことや仲間を信じることの大切さを改めて感じました。

四月からの新生活は、楽しいことや嬉しいこと、悔しいことなど、様々なことがあると思います。時には、自分の思いどおりにならず、諦めそうになることもあるかもしれません。しかし、失敗を恐れず多くのことに挑戦してほしいと思います。

皆さんの挑戦、努力は、決して無駄にはなりません。とりわけ困難を乗り越えた経験や、仲間とともに切磋琢磨した経験は、自分を強くし、人生を乗り越えていく力になります。自分自身の可能性を信じて、たゆまぬ努力をしてください。精一杯チャレンジ、努力したことは、新たな道を進むための大きな力となってくれます。自分を信じ、仲間を信じて周囲の人と支えあい、協力しあって次のステージに進んでいってください。

尾道は、自然に恵まれ、歴史文化の香るすばらしいまちです。この故郷尾道で生まれ育ち学んだことを誇りに持ちながら、これからの未来に、大きな夢と志を抱いて、羽ばたいていくことを心から祈っています。



表敬訪問 要望書の提出

去る、令和四年七月二十六日、吉浦会長以下、副会長二名が市役所を訪れ、尾道市内公立小中学校の教育環境の更なる改善を求めて、尾道市長、尾道市議会議長、尾道市教育委員会教育長に要望書を提出しました。

要望書の骨子は以下の三点。

1. 教室の換気設備の整備について
2. 児童・生徒・教職員の新型コロナウィルス感染に関する連絡方法の改善について
3. 中学校部活動における部活動指導員の確保について

要望書を受け取った尾道市長は、アフターコロナに向けた教育環境整備へ可能な限りの取り組みをすることのお答えをいただきました。また、要望の2にお応えいただく形で11月14日から全保護者への連絡メールは廃止されています。

尾道市PTA連合会として、「地域愛あふれる、人間性豊かな尾道っ子」を育成するための教育環境の充実を求め、今後とも行政に要望をしていきます。



星空映画祭

前号の市P連だよりでお知らせした通り、今年度は子ども達に楽しい夏の思い出を作りたい、という思いから、「星空映画祭」を実施することとし、「アニメSING」を上映しました。全13会場で、小中学校あわせて20校の児童・生徒の皆さんにご参加いただきました。これは尾道市内の全小中学校の約半数に当たります。子ども達に喜んでもらえたのはもちろんのこと、各校PTA役員の皆さんも、充実した笑顔で映画祭を終えられています。来年度も機材の貸し出しなど、映画祭事業を実施してまいります。

実施日	会場	参加対象
8月 5日	高須小	高須小・高西中・西藤小
9月10日	向東中	向東小・中
9月22日	栗原小	栗原小・中
9月23日	栗原北小	栗原北小
9月24日	久保中	久保小・中
10月 7日	長江小	長江小・中
10月14日	美木原小	美木原小
10月15日	向島中央小	向島中央小
10月21日	御調西小	御調西小
10月22日	百島小	百島小・中
10月28日	因北小	因北小・中
10月29日	土堂小	土堂小
11月 4日	三成小	三成小



編集後記

「当たらずといえども遠からず」という言葉がありますが、最近、その前後にも文章があることを知りました。中国の戦国時代の書物の一節なので、現代語で要約すると次のような感じです（少し解釈を変えています）。

「親が真心を持って子どもの気持ちを知ろうと求めれば、当たらずといえども遠からずである。いまだ子どもを育てることを勉強して学んでから、その後によく親になるという人はいないのである。」

みんな子育ての正解はわからないのだし、ちょっと肩の力を抜いて子どもの心と向き合ってください、と言ってくれているみたいですね。

(広報部 村上 純平)

尾道市PTA連合会
ホームページ▶

